



# みどりの里

宇奈月小学校だより  
第 15 号  
平成 31 年 3 月 8 日

目指す子供像 うんとかがえる子 なかよくする子 つよいからだの子 きれいなところの子

黒部市立宇奈月小学校 〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山 205 番地 1  
TEL (0765) 65-2288 FAX (0765) 65-2800

URL <http://www.tym.ed.jp/sc13/>  
E-mail [unazuki-es@tym.ed.jp](mailto:unazuki-es@tym.ed.jp)

## 「ぺったん、ぴん、ぐう」 ～目には見えないものへの挑戦～

保健主事 鍋谷真智乃

昨年度の健康診断で、学校医から「脊柱側湾症の子供が増えた」との指摘を受けました。そこで、本校では、今年度アクションプランの一つとして、「アンケート等で『姿勢に気を付けている』と答える子供が全体の70%を超える」を目標に掲げて、1学期から様々な取組をしてきました。

その一つが、朝の3015運動です。体幹を鍛えることで、きれいな姿勢を保つことができると考えたからです。また、学校保健委員会では、昨年度に引き続き、作業療法士を招いて、体幹を鍛える運動を再び教わることにしました。そして、その運動を毎朝の3015運動に取り入れたのです。掃除の時間には、「体幹トレーニングタイムの時間です」の放送に合わせて、子供たちはさらに腕に力を入れ、軽快に雑巾がけを行っています。また、給食中には「姿勢のチェックタイム」と称して、自分の食べている姿を見直すようにしました。給食委員会の呼びかけに、すうっと背中が伸びる瞬間です。同じように、授業中でも、「ぺったん（足裏を床につける）、ぴん（背筋を伸ばす）、ぐう（机椅子と体の前後に拳一つ）は、どうかな？」と教師が声をかけると、子供たちは座る姿勢を見直しています。



体幹を鍛える運動の一コマ

こうした取組を毎日の学校生活の中に取り入れたので、姿勢がよくなったのではないかと期待していましたが、残念ながら思うような結果には至りませんでした。アンケートで「姿勢に気を付けている」と答えた子供の割合は1学期には、35.1%であったものが、2学期は3.7%減少してしまい、3学期にわずかながら増加したものの目標の70%にはほど遠い結果となってしまったのです。考えてみると「自分の姿勢がよくなったのか」……これほど目に見えにくいものはありませんし、「いつも姿勢に気を付けているか」と尋ねられると、「いつもではない」と答える気持ちも分かります。

しかし、子供たちの様子を注意深く観察してみると、授業が始まって5分もたたないうちに机に突っ伏していた子供が徐々に1時間姿勢を保てるようになっていくことに気がきました。また、ブリッジや首倒立が全くできなかった子供がきれいにできるようになっていきました。



6年生を送る会でブリッジを披露する子供たち

さらに、保健室の前に掲示してある、『背骨チェック』コーナーの前で目を閉じ、体の歪みを自己チェックする子供たち。数値としては表れにくいものの、子供たちは着実に自分の姿勢や体に興味をもち始めたと感じました。

姿勢がよいと「骨がゆがむのを防ぐ」「集中力が高まる」「内臓の調子よくなる」などの利点があります。ぜひ、家庭でもよい姿勢の効果について話し合ったり、体幹を鍛えるトレーニングをしたりしてみたいでしょうか。子供たちの体幹が鍛えられていることに気付くかもしれません。なかなか効果を実感しにくいテーマではありますが、家庭と学校とが力を合わせて、子供たちの健やかな体づくりを推進していきたいと思えます。

## 除雪の大切さ、大変さを実感！……4年「子ども雪教室」

2月7日（木）、県入善土木事務所からの依頼を受けて、第4学年「子ども雪教室」を開催しました。校舎周辺にはすっかり積雪がない状態でしたが、本県の除雪状況について説明を受けた後、集結した除雪車4台の運転席に座り、操作を体験するなどして、除雪車についても理解を深めました。4年生からは、「除雪のおかげで通行できるようになるんだ」「除雪車は大きくて、すごいね」といった感想が聞かれました。



除雪車を注意深く見ると……



操作したら楽しかった！



除雪の大切さ、大変さが分かったね

## 花とみどりを守り育てる意識を高めて……5年「キノコの植菌体験」

2月18日（月）、青少年育成市民会議下立支部やフォレストリーダーの皆さん16名に来ていただき、5年生がキノコ（ナメコ）の植菌体験を行いました。ミズナラやサクラの原木に、次々とドリルで穴を開け、木槌で菌を打ち込んでいきました。数年後の収穫を楽しみに待ちたいと思います。その後、5年生は一年間の活動を締めくくり、花とみどりの少年団の解団式を行いました。



ドリルで、穴を開けて……上手になったね！



開けた穴にナメコの菌を打ち込んで……

## 毎日の見守りに心から感謝！……安全パトロール隊感謝の集い

3月1日（金）、6年生を送る会に先立ち、各地区の安全パトロール隊や浦山駅誘導員の皆さん、スクールバスの運転手さんや駐在所の皆さんを招待し、感謝の集いを開催しました。代表児童が手紙を読んで感謝の気持ちを伝えました。また、子供たちはお一人お一人にお礼のメッセージを渡しました。

この一年間、本校の子供たちに大きな事故や怪我がなかったのは、皆さんの毎日の見守りのおかげです。暑い日や雨の日、風の日、雪の日もご尽力いただき、心から感謝申し上げます。そして、来年度もどうぞよろしくお願いいたします。



「一年間、大変お世話になりました」

## お世話になった6年生に感謝の気持ちを込めて

3月1日(金)、もうすぐ卒業を迎える6年生に対し、5年生が中心になって6年生を送る会を開きました。代表委員会を経て、1年生から5年生がプレゼントや飾り付けの準備を分担し、練習を重ねてきた出し物を披露しました。6年生からのお返しの詩の朗読や演奏の発表も心温まるもので、とても素敵な会になりました。引き継ぎ式も行い、1～5年生は進級への思いを、6年生は中学校生活への期待を大きく膨らませました。

保護者や地域の皆様には、ご多用の中、多数ご参観いただき誠にありがとうございました。



1年生と決めポーズで入場



2年 音楽劇「スイミー」



1年 劇「おむすびころりん」



3年 劇・ダンス「3年前の『君の名は。』」



4年 劇「Una tube ～お世話になった6年生の笑顔が見たい～」



5年 思い出劇「6年間の思い出グランプリ」



6年生からのお返し(詩の朗読・合奏)



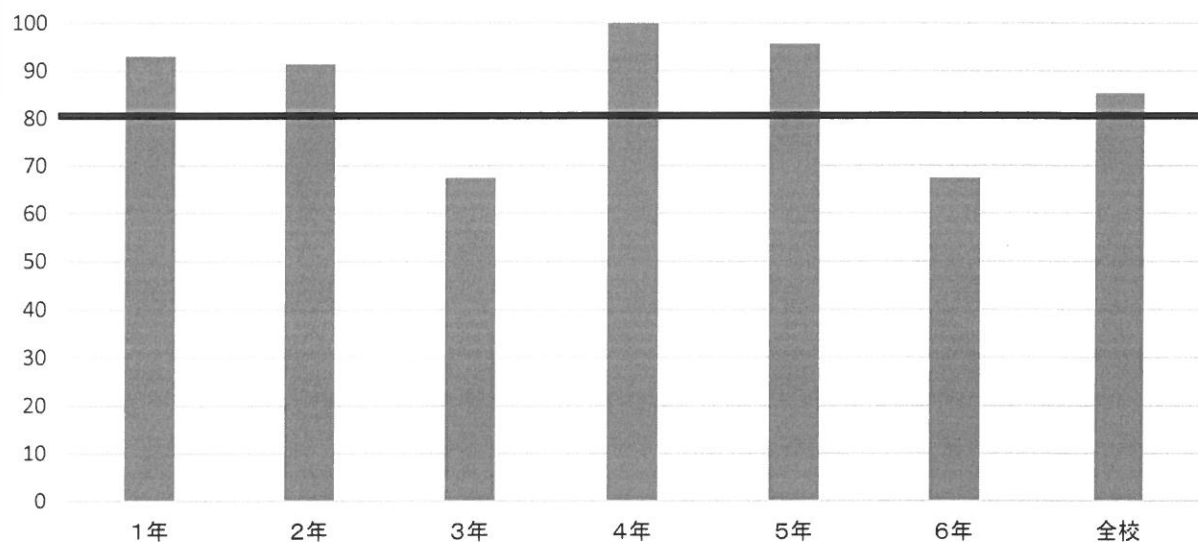
引き継ぎ式



花道を通る退場は最高!

## アクションプラン1 集計結果

各学年で設定した目標冊数を達成した子供の割合  
(目標値:80%)



3学期	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校
達成率	93	91	68	100	96	67	85
達成者	27	32	27	38	45	29	198
人数	29	35	40	38	47	43	232

内容・項目	今年度の取り組みの成果(○)・改善点(△)
<p>◇アクションプランについて (朝読書の取組み、読書カードの活用、共通読書、読書会、市立図書館の本等)</p> <p>※各学年で設定した「年間目標冊数」を達成した子供の割合80%</p>	<p>○年間目標冊数を達成した子供の割合は85%で、目標を達成することができた。</p> <p>○親子読書の取組は家庭での読書の推進につながった。今後も継続して取り組んでいきたい。</p> <p>○図書委員会の読書月間(10～11月)の企画内容が、子供たちの読書意欲を高めるためにとても効果的であった。(読書ビンゴ、しおりのプレゼント、読み聞かせ等)</p> <p>○学期に1度、学年の実態に応じた内容の本を市立図書館から借りた。子供たちは最新刊等に触れることができ、これまで以上に興味をもって読書に取り組むことができた。</p> <p>○図書担当教諭が図書館司書と連携して読書環境の整備を行い、子供たちが進んで本に手を伸ばせる環境づくりを積極的に行った。その結果、図書室に来る子供の数が増えた。</p> <p>○下学年が抵抗なく本に親しめるように、地域ボランティアによる読み聞かせを定期的に継続して行った。子供たちは集中して聞くことにより、聞く力や想像力を高めることができた。</p> <p>△読書記録を忘れる子供がいるので、対応策を考えていきたい。</p> <p>△読書に抵抗感をもっている子供が固定化している。そこで今後は、一人一人の子供の実態に応じた支援や読書環境の整備に努める。(例)興味のある分野の本や絵本を薦める。教室内に読書コーナーを設ける。</p> <p>△学級全体で同じ本を読み、感想を共有しあう共通読書に計画通り取り組むことができなかった。次年度は見直しをもって、実施計画を立てる必要がある。また、共通読書で活用する本の内容を見直し、読書が苦手な子も進んで参加できるようにしたい。</p>

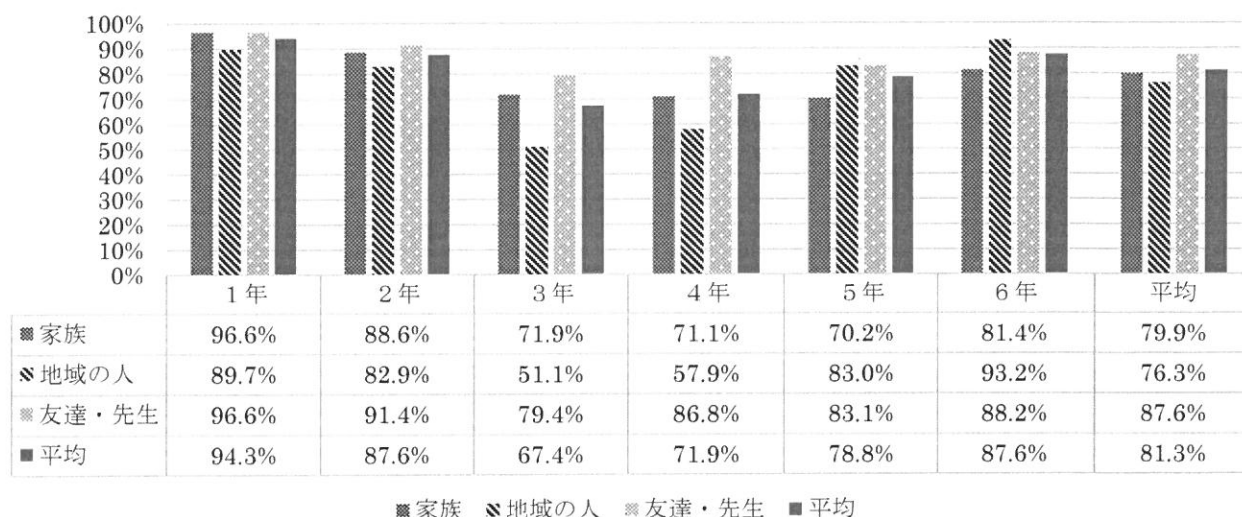
## アクションプラン2 集計結果

互いを尊重し合う人間関係づくり（挨拶が響き合う学校を目指して）

（１）「自分から進んで家族・地域の人・友達に挨拶をすることができた」

と感じている子供の割合80%以上

児童アンケート「自分から進んで挨拶をすることができた」  
（はいと答えた児童：3学期）

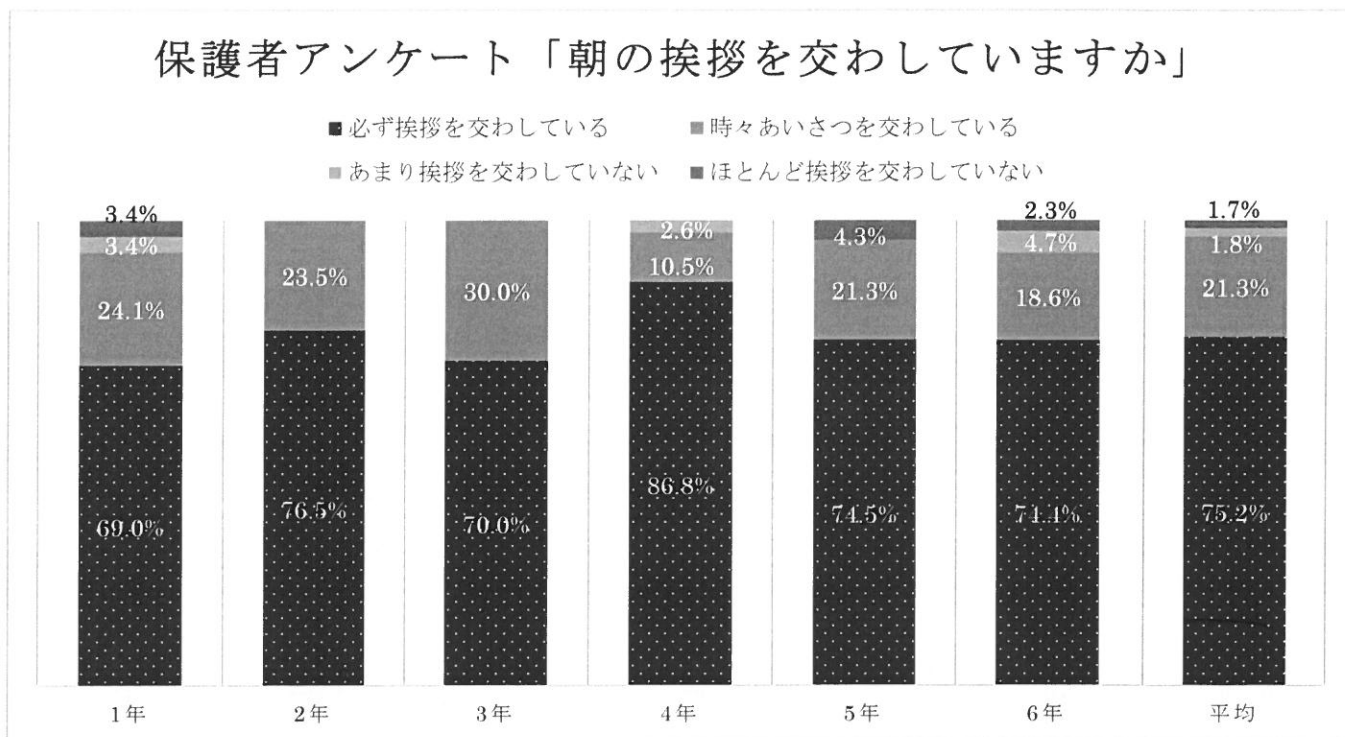


### 今年度の取り組みの成果（○）・改善点（△）

- 全校で見ると、家族には79.9%（前回72.6%）、地域の人には76.3%（前回72.3%）、友達や先生には87.6%（前回80.1%）が挨拶を進んでしていると感じており、学校では挨拶運動に参加するなどして少しずつ挨拶ができるようになってきているように感じられる。
- 高学年では地域の方に挨拶できる子供がやや多くなっている。
- 今年度は「あさがおさいた運動」の中でもとくに「おはようございます」を重点に取り組んできた。中学校との連携事業、挨拶月間の設定、縦割り班でのあいさつ運動、学年参加のあいさつ運動、日直によるあいさつ運動、挨拶スタンプラリーなど、児童会が呼び掛け、どの学年にとっても動機付けになるような活動を工夫してきた。今後も挨拶をすることのよさ、返ってきたときの心地よさ等を感じられる活動を工夫したい。
- 道徳科でも「礼儀」を重点項目として指導してきた。また、行事等の機会ごとに地域の方や来校者への挨拶を指導してきた。高学年の姿を見て中学年の子供たちにも少しずつ挨拶できる子供が増えてきたと感じている。
- △平均すると目標の80%に達しているが、家族や地域の方等、挨拶の習慣付けはこれからも指導が必要である。

## (2)「家族間で朝の挨拶を交わしている」と感じている

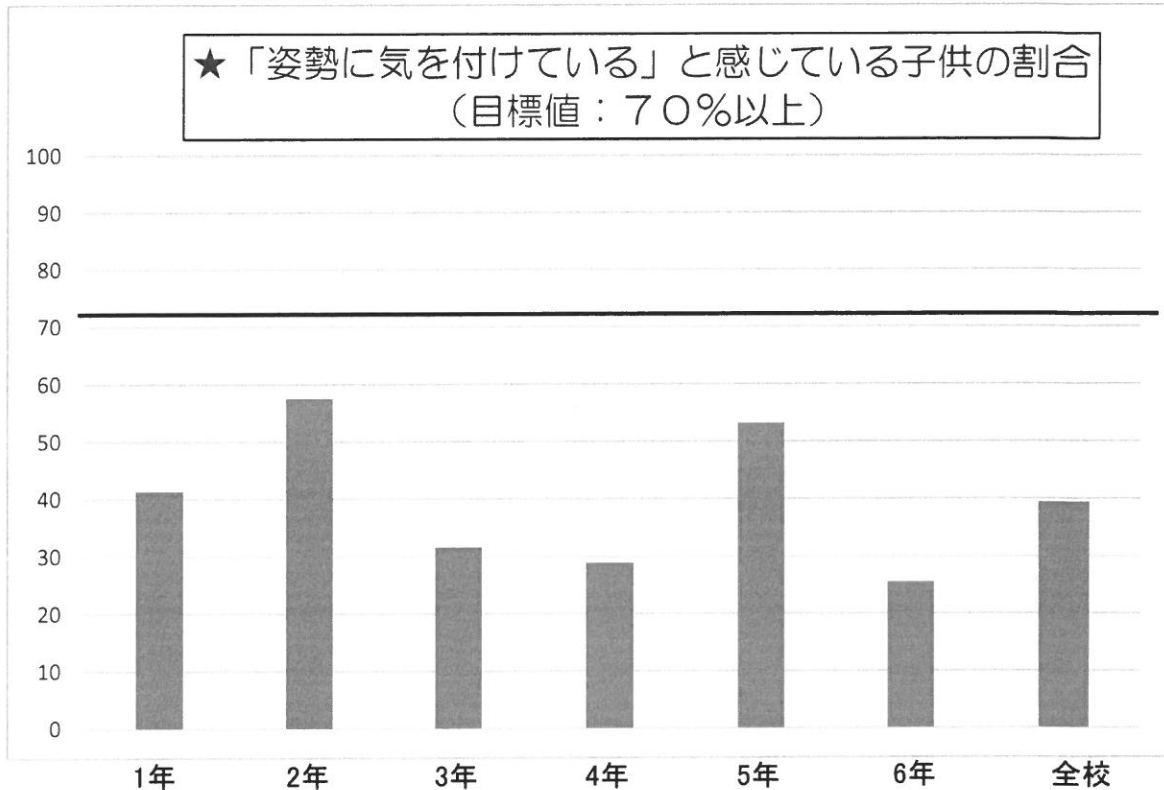
家庭の割合80%以上



○平均75.2%の家庭で必ず朝の挨拶を交わしていると感じており、時々挨拶を交わしている(21.3%)と合わせると96%を超え、目標はほぼ達成されていると感じられる。  
△子供の意識と比較すると、1年生で27.6%、2年生で12.1%子供の方が「挨拶をしている」と感じている割合が高い。また、3年生以上は親子間であまりずれはない。「自分から進んで挨拶ができる子供」を目標にして家庭にも呼び掛けたい。



## アクションプラン3 集計結果



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校
達成者	12	19	13	11	25	11	91
在籍	29	33	41	38	47	43	231
達成率	41	58	32	29	53	26	39

内容・項目	今年度の取り組みの成果 (○)・改善点 (△)
<p>◇アクションプランについて</p> <p>○「姿勢に気を付けている」と感じている子供の割合70%以上</p>	<p>○「とやまゲンキッズ作戦」で姿勢に気を付けている子供の割合を調べた。</p> <p>○昨年度学校保健委員会で教えていただいた体幹を鍛える運動を一覧にしてまとめ、点数化し、「チャレンジ3015」に取り入れ朝の会や体育の時間に行った。</p> <p>○掃除の際、「体幹トレーニングタイム」と称し、体幹を鍛えていることを意識しながら、雑巾がけを行う時間を設けた。</p> <p>○「背中ピン週間」を設け、学習時間や給食時間に姿勢を意識できるようにしたところ、「姿勢に気がつけた」と答えた子供が多かった。</p> <p>○11月の学校保健委員会で昨年度に引き続き、姿勢の維持と体幹をテーマにした集会を実施したところ、さらに運動の習慣が定着した。</p> <p>△「とやまゲンキッズ作戦」で姿勢に気を付けている子供の割合は、2学期に「はい」と答えた子供が、31.4%で、3学期は、「はい」と答えた子供は、39.6%と依然として低い。しかし、「気をつけていない」と答えた子供の割合も減少しており、少しずつながら努力している様子は認められる。数値として、目に見えるまで変化させることは容易でないが、今年度の取り組みを来年度も継続して行うことで、子供たちが「姿勢がよくなった」と実感できるまでにしていきたい。</p>

## 第2回学校評議員会より 平成31年2月21日(木) 19:30 会議室

平成30年度学校評議員

大橋朋子(人権擁護委員)、岡田千春(浦山公民館主事)、草野敬一(主任児童委員)  
杵掛栄一郎(PTA会長)、森下泰行(県青少年育成県民運動推進指導員(市民会議会長))  
平澤茂二(宇奈月小学校後援会長)、中佳美(放課後児童クラブ指導員)

### 【内容】

- 1 2・3学期の教育活動の紹介(校長)
- 2 今年度のアクションプランの評価結果(教頭)
- 3 第2回保護者アンケート結果(教頭)
- 4 ネットに関するアンケート調査結果(校長)
- 5 質疑・協議

【主な質疑・協議内容】 ※ ( ) は学校の回答等

### ＜アクションプラン1(読書活動推進)について＞

- ・学校での実際の読書状況はどうか。  
(年一度の読書月間に図書担当、学校司書、児童図書委員会が中心となって、工夫された取組が成果を挙げている。親子読書の取組も好評だった。)
- ・子供が読書に向き合う時間は長い方かもしれない。読書環境は整っていると思うので様々なジャンルの本に触れてほしいと願う。(市立図書館から定期的に図書を借りるなどして充実に努めている。)
- ・保育園(所)でも読み聞かせや図書の貸し出しの仕組みがあるので、小さい頃から読書に親しむ環境があり、本に抵抗のある子供にもよいと思う。
- ・兄弟で下の子供が上の子供に「読んで」と頼んでいる姿を見かける。人に分かりやすく伝えることにもつながり、読書の効果は計り知れない。

### ＜アクションプラン2(挨拶の推進)について＞

- ・挨拶は、下学年は上学年がするのを見て手本にしている。全校でよい挨拶の雰囲気ができている。
- ・地域ではあまり挨拶をしない子供もいる。やはり大人が率先して挨拶しなければ、子供も進んで挨拶しようとはしないものだ。
- ・愛本地区等はほぼ100%と言えるくらい子供たちは毎日挨拶をしている。ただ昨今、知らない大人には挨拶の意識は低いものである。
- ・今度、毎週水曜日の下校時に青パトで地域巡回を始めることにしている。マイク等で声かけもできるので、挨拶の取組が進むとよい。駐在さんが時々パトロールしてくださっているのが防犯上ありがたい。

### ＜アクションプラン3(よい姿勢の保持)について＞

- ・学習参観の際に子供の様子を見ても姿勢がよく分かる。今回の意識調査での目標値の設定は、ややハードルが高かったかもしれないので、その点を考慮しながら継続して取り組んでほしい。
- ・授業中、よい姿勢を意識させたり、背中を伸ばす活動を取り入れたりすると習慣化させるとよい。
- ・45分間の授業中、よい姿勢を保つのは難しいもの。姿勢はしつけの一つであるから、家庭と連携して取り組むことが大切である。

### ＜その他 保護者アンケート等から＞

- ・今年度のいじめの状況はどうか。どのように取り組んでいるか。(いじめではないかと捉えて対応したものが数件あった。早期に発覚した例が多く、解消に至っている。本校のいじめ防止基本方針に基づき、子供や保護者、担任等から報告を受けると直ちに対策組織を立ち上げ、組織的に対応するようにしている。)
- ・保護者が気軽に学校へ相談できるように配慮し、不安や心配事の解消を図ってほしい。(スクールカウンセラーの来校日「第2・第4火曜日の午後」を周知し、積極的な活用を図るようにしたい。)